



7月号

令和3年6月25日  
横浜市立 星川 小学校  
校長 羽山 悟  
TEL.332-2101 FAX.331-5052

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>



## 『 たてわり活動から学び得る自己肯定感 』

校長 羽山 悟

梅雨時のうっとうしさを吹き飛ばすかのように、あちらこちらの庭先や校庭の片隅には、紫陽花の花が、ピンク、紫、青などの彩で咲かせ、私たちの心に優しく上品に見せてくれています。本校の職員玄関の横にも、2種類（渥美絞り、墨田の花火）の紫陽花が咲いています。紫陽花には、団らん、和気あいあい、という花言葉があります。日々の星の子の生活も、この花言葉のように、団らんをしながら和気あいあいと梅雨空に負けないよう過ごしています。



<紫陽花名：アツミシボリ>

5月28日、たてわり活動（異学年交流）の実践である全校遠足が行われました。この日を迎える前に、カードなどを使って自己紹介をし、緊張した面持ちを解消していました。全学年の前で話をするのは教室で話すのとは勝手が違います。勇気を出すのに時間がかかる児童もいます。安心して話ができるよう見守る子どもたちの姿に嬉しく思いました。

当日は、約15、6名のグループで学校をスタートし、6年生リーダーが低学年の児童に温かい声をかけながら活動を支え、文字通り引っ張っていました。保土ヶ谷公園でのポイントラリーでは、様々な課題に一喜一憂しながら挑戦していました。高学年の児童は、低学年のときの自らの思い出を語りながらも、今回は自分がまとめなければという自覚のもと活動している姿は、微笑ましく頼もしく感じました。



<紫陽花名：スミダノハナビ>

たてわり活動を通した全校遠足では、星の子の笑顔をいっぱい見ることができました。自らを見つめ、成長を確かめることができ、自己肯定感をもって取り組めたと思います。星川小学校の教育活動の取組の中で、今後もこのたてわり活動は、子どもたちの成長を促す大切な機会と考えています。今回の機会をこれからの行事や学校生活にもつなげ生かされればと思います。保護者の方々や地域の方々には引き続き、子どもの取組を見ていただき、そして、子どもたちの成長の機会を応援していただけるようお願いいたします。